

即時送金サービス「Osko」を使用した詐欺への注意喚起

1 詐欺被害の概要

(1) 今年7月、ニューサウスウェールズ州在住の邦人男性が、豪州の即時送金サービス「Osko」を使用した詐欺被害に遭い、約5,000豪ドルをだまし取られました。

(2) この事件は、日本で言う「オレオレ詐欺」と同様の手口です。具体的には、被害者男性の家族を騙る犯人が「携帯電話を水没させてしまいしばらく携帯電話が使えないが、緊急の支払いがあるので、今日一日だけお金を立て替えてほしい」等のテキストメッセージを送り、言葉巧みに信用させた上でお金を振り込ませたものです。

(注) Osko は、銀行口座間の振込をほぼ数秒で完了できる BPAY が提供する 24 時間 365 日利用可能な豪州の即時送金サービスです。便利なサービスですが、詐欺等に利用されると、送金したお金が即座に犯人に引き出されてしまうため、追跡が困難です。

2 詐欺被害に遭わないためのポイント

- お金を振り込んでほしいという依頼は詐欺である可能性があります。
- おかしいと思ったら、親族や友人・知人の意見を求めましょう。
- 急かされて送金することはやめましょう。送金前に受取人の名前等の情報をよく確認しましょう。
- Osko は送金の取消しが原則的にできません。しかし、お金が相手口座に残っていれば、出金を止められる場合もあるようですので、おかしいと思った場合には、送金先の金融機関に連絡して、支払いの取消しを試みてください。

3 詐欺被害に遭ってしまった場合

詐欺被害に遭ってしまった場合には、①送金先の銀行へすぐ連絡して、支払いの取消しを求めるとともに、②最寄りの警察署に、送金日時、金額や取引 ID 等を記した記録（携帯の画面等でも可）を持って、詐欺の被害を届け出てください。

(了)